

大相撲で活躍の高安、御嶽海は共にハーフ

2017年7月19日

2017年7月、名古屋場所は平成生まれではじめて大関に昇進した毛深くゴリラのような高安・27歳と関脇の座に登ってきた新鋭、御嶽海・24歳が大活躍、連日、場所を盛りあげています。相撲界に新しい流れは始まった感じです。

両力士共に平成生まれの力士、母親がフィリピン人、父親が日本人のハーフという共通点があります。フィリピン女性、強し！の感じを与えます。大相撲力士の国際化が進んでいます。高安、御嶽海ともに将来の横綱候補の筆頭。今後の活躍が大いに期待したいところです。

最近のスポーツ界では短距離、柔道、相撲などハーフの人たちの活躍が、またTV局のアナウンサーやTVタレントにはハーフの人たちが目立ちます。ハーフは強しの時代ですね……

高安という名は本名。高安家は大阪の由緒ある家柄なので。1990(平成2)年2月28日生まれの27歳。茨城県土浦の出身。父親は日本人で母親はフィリピン人。今でこそ大関に昇進しましたが大相撲に入門したのちは相撲界、人間関係になじめず7回、8回と部屋を脱走し、脱走の常習犯だったのです。そして部屋に戻ることを説得し、詫びを入れたのはいつも父親だそうです。現在、高安がここにいるのも父親の力が大きいです。

高安少年は中学生の時は野球部に所属して野球をしていたそうですが、卒業するころ進路に迷っていた時に父親の勧めもあって相撲部屋に入門することになります。

当時ですでに身長が180cm、体重が120kg、足の大きさは33cmと大きな体の持ち主でしたから、野球選手よりも相撲取りの体形だったようですね。



御嶽海 久司(みたけうみ ひさし、1992年12月25日 -)は、長野県木曾郡上松町出身、東洋大学出身。出羽海部屋所属の現役大相撲力士。本名は大道 久司(おおみち ひさし)。身長178cm、体重153kg、血液型はO型。得意技は突き・押し。自己最高位は西関脇(2017年7月場所)。好物はバナナ、寿司、焼肉。好きな俳優は峰竜太。父は日本人、母はフィリピン人。

当初はプロ入りする意向はなく、アマチュア相撲の強豪・和歌山県庁への就職が内定しており、就職したら家族を呼んで和歌山で一緒に暮らすことを考えていたが、大学の相撲部の浜野監督の知人から部屋を紹介され、また「最近10年くらい幕内力士が出ていなくて、今は名門とは言えないかもしれない。でも、きっと再興させたいと思っている。是非とも力を貸してほしい」という11代出羽海親方(元幕内・小城ノ花)の説得もあり、2015年2月12日に出羽海部屋へ入門した。